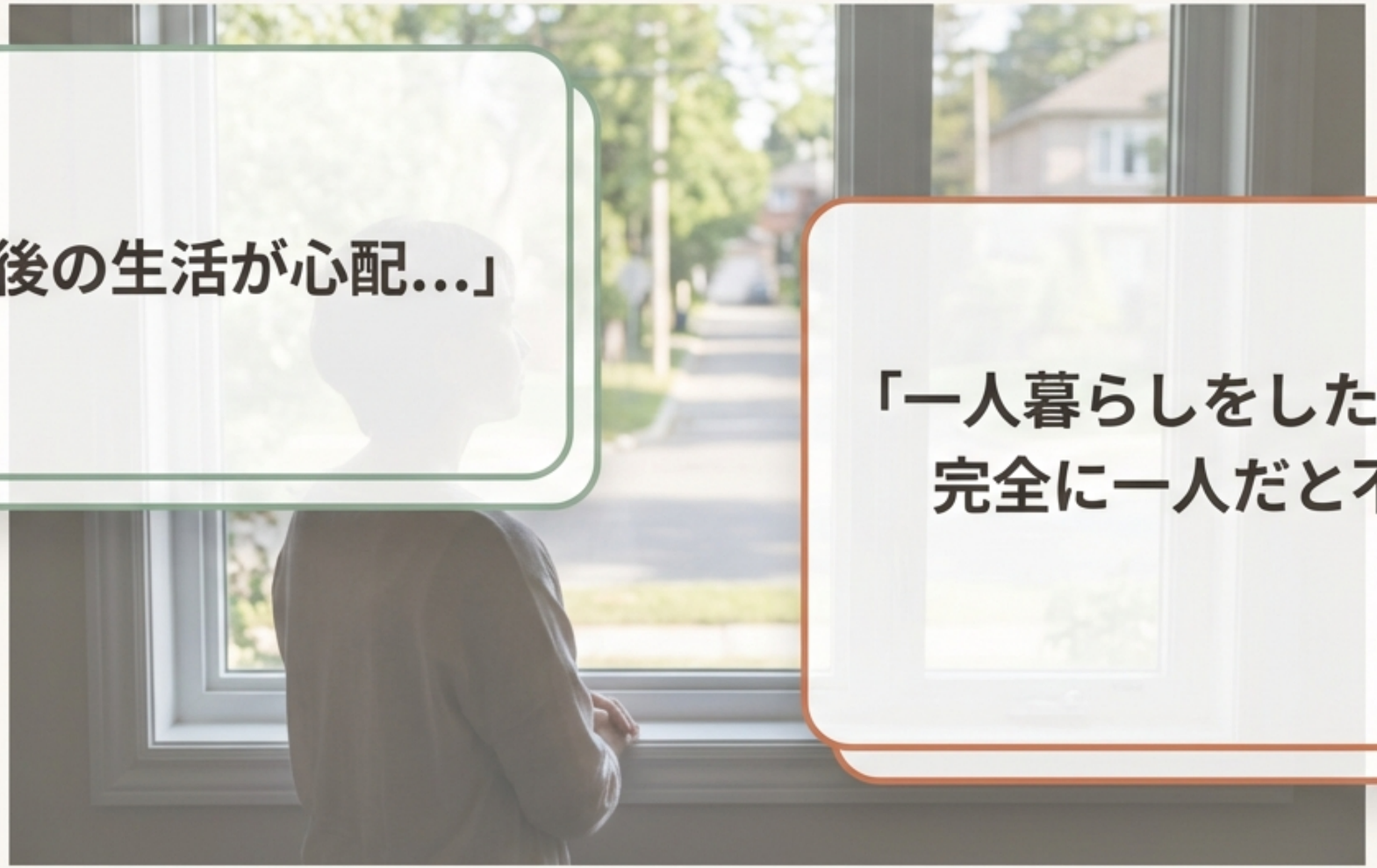
新しい暮らしへ、あなたの一歩。

障害者グループホーム（共同生活援助）という選択肢



NotebookLM

こんな不安、ありませんか？



「親亡き後の生活が心配...」

「一人暮らしをしたいけど、
完全に一人だと不安」

NotebookLM

その不安を、安心と自立に変える場所があります。

グループホームは、地域で安心して暮らすための「第二の家」。

安心のサポート

世話人や生活支援員が、食事や生活の相談にのってくれます。

自立への練習

将来の一人暮らしに向けた練習の場としても活用できます。

安定した毎日

日中は事業所に通い、夜は家で過ごす、メリハリのある生活が送れます。



NotebookLM

そもそも、グループホーム（共同生活援助）とは？

Definition:
障害者総合支援法に基づく福祉サービスの一つです。

Explanation:
地域のアパートや一軒家で、数人（定員2〜10名程度）が共同生活を送る場所です。
夜間や休日を中心に、スタッフ（世話人・生活支援員）が日常生活のサポートを行います。



NotebookLM

どんなサポートが受けられるの？



食事の提供

朝食や夕食の準備・片付けをサポートします。



健康管理

服薬の確認や、病院への通院に同行します。



金銭管理

お小遣い帳のつけ方など、お金の管理について
アドバイスします。



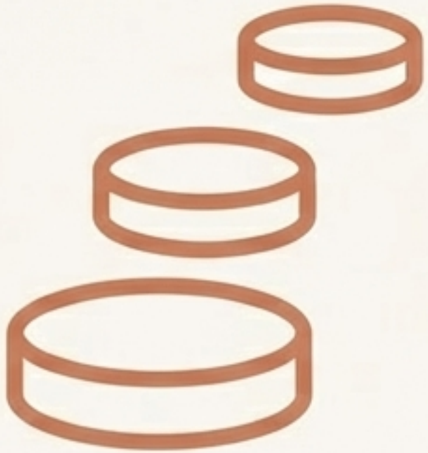
相談支援

仕事や人間関係など、日常生活での悩みを
を聞き、支えます。

※「夜間支援体制加算」があるホームでは、夜間もスタッフが常駐または巡回するので安心です。

NotebookLM

あなたの目的に合わせて選ぶ、2つの暮らし方。



通過型（Transitional Type）

将来の一人暮らしを目指すための訓練の場。

利用期間が決められていることが多いです。
（例：3年間）



滞在型（Long-term Stay Type）

「終の棲家」として、長く安心して暮らす場所。

利用期間の定めはありません。

※これらは制度上の正式な区分ではなく、事業所の運用方針によるものです。

NotebookLM

サポートの提供体制から見る、3つのホームタイプ。



介護サービス包括型
(Inclusive Care Service Type)

最も一般的なタイプ。

ホームのスタッフが、食事や入浴、排泄などの介護も直接行います。



外部サービス利用型
(External Service Utilization Type)

介護は外部の専門家が担当。

ホームのスタッフは家事や相談支援が中心。介護は外部のヘルパー（居宅介護事業所）に依頼します。



日中サービス支援型
(Daytime Service Support Type)

24時間体制で手厚い支援。

重度の障害がある方などのために、日中もスタッフが配置され、ホーム内で活動の支援が受けられます。

NotebookLM

知っておきたい大切なこと

「障害者グループホーム」と「認知症高齢者グループホーム」の違い

	障害者グループホーム （Disability Group Home）	認知症高齢者グループホーム （Dementia Group Home）
根拠法	障害者総合支援法	介護保険法
対象者	障害のある方（知的・精神・身体など）	認知症の診断を受けた高齢者

この資料でご説明しているのは、障害者総合支援法に基づく「共同生活援助」です。

NotebookLM

費用の目安は？年金の範囲内で暮らせます。



① 障害福祉サービス利用料

原則1割負担ですが、所得に応じた上限があり、**多くの方は0円**です。

＋



② 家賃

国から**月額1万円の家賃補助**（特定障害者特別給付費）が支給されます。

＋



③ 実費

食費、光熱水費、日用品費など。

＝

月額合計の目安

6万円～8万円程度

障害基礎年金で賄える範囲で設定れていることがほとんどです。

NotebookLM

日中のB型事業所との連携で、メリハリのある毎日を。



ホームで朝食・準備
→ B型事業所へ通所

B型で作業・活動・昼食

ホームへ帰宅
→ 夕食・入浴・団らん・就寝

「職住分離」（Separation of Living & Work）

働く場所と住む場所を分けることで、生活リズムが整い、精神的な安定につながります。

NotebookLM

ある利用者の物語

Mさん（20代 男性・知的障害）

Before（以前）：
実家暮らし。親御さんの高齢化を機に、
将来の自立を考え始めた。

After（現在）：
「通過型」のグループホームに入居し、
平日はアイデンドに通所。
週末はホームの仲間とゲームをしたり、
時には実家に帰省したりして過ごす。



NotebookLM

私たちアイデンドがお手伝いできること



アイデンドは日中活動を行う通所施設ですが、グループホームとの連携を大切にしています。



情報連携（Information Sharing）

ご本人の体調や日中の様子の変化などを、ホームの世話人さんと密に共有し、一体となってサポートします。



ご紹介・情報提供（Referrals & Information）

グループホームをお探しの方には、お住まいの地域の空き情報などをご案内することも可能です。

NotebookLM

後悔しないホーム選びのための、一番大切なポイント

スタッフからのワンポイントアドバイス

グループホームは「共同生活」。ルールや他の利用者さんとの相性も大切です。

まずは「体験入居」を積極的に利用しましょう。

- ホームの雰囲気
- スタッフとの相性
- 食事の味
- 生活のルール

NotebookLM

よくあるご質問

Q グループホームはすぐに入れますか？

A 地域によっては満室で、待機が必要な場合もあります。まずは早めに地域の相談支援専門員に相談し、情報収集を始めることが大切です。

Q 門限やルールは厳しいですか？

A ホームごとに異なりますが、門限（例：21時）や食事の時間などのルールはあります。一人暮らしよりは自由が少ないですが、その分、安全が守られているという利点があります。

NotebookLM

さあ、はじめの一歩を。

「こんなことを聞いてもいいのかな？」
どんな小さなことでも構いません。
あなための不安や疑問に、私たちが寄り添います。

ご相談はすべて無料です。まずはお気軽にお電話ください。



アイデンド八戸	0178-32-0617
アイデンド十和田	0176-58-6257
manaby CREATORS 八戸	0178-51-8951

受付時間：平日 9:00 - 17:00

NotebookLM